



ドラマチック授業、始まる！！



写真：中尾栄治

笑い♪驚き♪ナンセンス♪

（制作部 丹治陽）

「心が震える可能性を消さないで！」

稽古場にはまるでイヨネスコが降りてきているかのような西さんのダメ出しが飛んでいます。かつてない『授業』を受けて来て下さい！

演出を手掛けるのは西悟志さん。十年ほど演劇活動を休止していましたが、西さんの手腕を高く評価する宮城芸術総監督により大抜擢されました。

人間の奇妙な食事

演出を手掛けるのは西悟志さん。十年ほど演劇活動を休止していましたが、西さんの手腕を高く評価する宮城芸術総監督により大抜擢されました。つくりものの《お芝居》と戦つて！

演出を手掛けるのは西

悟志さん。十年ほど演劇

活動を休止していました

が、西さんの手腕を高く

評価する宮城芸術総監督

により大抜擢されました。

つくりものの《お芝居》と戦つて！

演出を手掛けるのは西

悟志さん。十年ほど演劇

活動を休止していました

が、西さんの手腕を高く

評価する宮城芸術総監督

により大抜擢されました。

つくりものの《お芝居》と戦つて！

演出を手掛けるのは西

悟志さん。十年ほど演劇

活動を休止していました

が、西さんの手腕を高く

評価する宮城芸術総監督

により大抜擢されました。

つくりものの《お芝居》と戦つて！

演出を手掛けのは

西悟志さん。十年ほど演劇

活動を休止していました

が、西さんの手腕を高く

評価する宮城芸術総監督

により大抜擢されました。

つくりものの《お芝居》と戦つて！

演出

切に説明するなら、「ゴド待ち
は期待ばかりで何も起こらず（満
↓空）、言うべきこと何もない
時、意味ない発語をしたくなる
感覺つきと多くの人が知つて
いる（空↓満）。

核戦争の可能性がふつうに
ニュースで流れても、冷戦時代、子
どものとき、かつて原爆の落ち
た広島で過ごした。わかった。
大量の人も一瞬でいなくなるん
だ（満↓空）と思ってた。大戦中
ナチスに怯える東欧で過ごしたイ



5月に行われた第一期稽古。“西スピリット”を共有するため、数々のエクササイズを実践し、共通の身体感覚を探った。その一部を紹介。

「将棋」

将棋を指す要領で、俳優が
交互に空間を動き回る。相
手の動きを受け、移動の方
向やスピードなどを変化さ
せながら「画」になる瞬間
を作っていく。映画好きの
西が小津安二郎の映画のワ
ンシーンを見せ、美しい構
図を学び、動きの参考にし
ていたのが印象的。



「観客の心をぐわあんぐわあん揺さぶりたい」と稽古場で語る西。これらのエクササイズがどのように舞台に結実するのか…。10月からの本番に向けて稽古は続く。(東岡 雄)

（条理演劇）の超有名作「ノベル賞作家サミュエル・ベケットの『ゴドーを待ちながら』は「待つてるやつが来なかつた」と終わる。バカ劇二大巨頭・もひとりのイヨネスコのある戯曲には「うんこ・うんこ・うんこ・うんこ・うんこ」という素敵な台詞がある。アホらし、と思うかもだが、ここには、満たされたものと空に、空のものは満にして、という切実でひどい欲望も感じる。だから、これらは文学であり。奄、へへ。）

足だ。アトピーが痒いただけで、
けど、これは近代兵器の副産物
である「歴史的な感覚」じゃな
いかと勘が言う。爆弾からナン
センス。

戯曲『授業』の原文には、
く（く）（う）（う）（う）＝「空」という
仏語が3回出てくる。最初と、
真ん中と、最後に。そのカラッ
ポの中で、人と人と人と言葉、
言葉・言葉が目一杯にカラ回り
する。あとは死ぬだけ。意味は
ないよ。それが人間。ゲラゲラ。

それがイヨネスコ教授の授ける
授業なのかも。

さて、古典演出といふ仕事
ホン(戯曲)に忠実であらねばと
思う。だとしたら、ちょっと不
則なのだが、今回はひとつ俺の妄
想も語ってみてえ、と思ってる。
満ち満ちたカラッポから脱走
したいんだ。ほんとすまんが
許せ同志、イヨネスコ
(66-60)↑割に長生
きだな

幕間



一九六六年にオデオン座で『空中歩行者』を観て、樂屋を訪ねるとモンバルナスの「クーポル」で一夜食に誘つてくれました。その後、彼がアカデミー・フランセーズ会員に選ばれたことは、同時にベケットがノーベル文学賞を受賞したことと合わせて驚いた。時代は変わったねという感じで。

※フランス最高峰の国立美術団体（一九三五年設立）。

「あやかしは言葉があつてや。」「空
のやうに満たす。満ちてやがれ
てよしとる。洋服のいわせ換へ」
(Fill what is empty. Empty
what is full. Scratch where
it itches.) 血分の行動原理など、
かじ思つ。俺、自分を空へ満つ
思つてや。とくに若く頃せ。

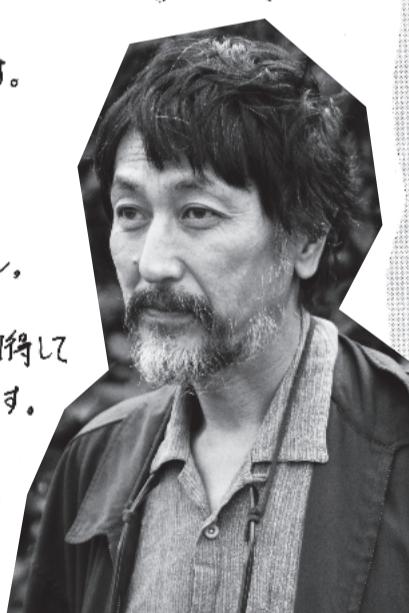
Theatre of the Absurd

ヨネスコという作家のナンセンスは、爆弾でみんな一瞬でいなくなる恐怖から生まれたものじゃないか、と自分が通して思う。今に生きてたらよく分からないかもだけど。俺も戦争は知らぬ。五体満



写真：猪俣恵夫
にし・さとし
1974年広島生まれ。演出家。東京大学在学中より劇団を立ち上げ、2002年利賀演出家コンクールにて優秀演出家賞を受賞。翌年、受賞作をモスクワで上演。演出作にイヨネスコ『二人で狂う』(受賞作)、イップセン『人形の家』、ワイルダーラー『わが町』など。05年劇団が解散。10年の活動休止を経て、16年にチョウソンハ・池田有希子の二人芝居『マクベス』を演出。おもしろくする力が信念。

役者のひとのこゑ



静岡県三島市出身。『高き彼方』(古館寛治演出)の教師役や『噴霧の夜の夢』(宮城聰演出)の露魔・メイフスト役など印象的。

イヨネスコとの思い出
(聞き手・丹治陽 編集・坂本彩子／制作部
パリに留学したのは一九五六年の秋、
大学院二年の時でした。その頃の前衛
はアンチテアトル(反演劇)。パリでは不
条理演劇のイヨネスコやベケットばかり
上演していると思って行つてみたら、や
りでないんですよ。唯一、ユニット座という
今では観光名所みたいになつた四〇席
くらいの小さな劇場で、イヨネスコの
『恋の歌手』と『授業』という初期の
二作をやつていたくらい。

だから、一九六三年に日本で開かれた
ユネスコ主催の国際演劇シンポジウムの
に、彼がフランス代表として招かれたと
きは驚きました。えーそんなに偉くな
たのかつて(笑)。彼はシンポジウムの演
説で「反演劇と言われるけれど、自分
たちの劇作こそが演劇だ」と言つてしま

イヨネスコとの思い出

授業

作——ウジエーヌ・イヨネスコ

演出
——西悟志

共同演出——菊川朝子

翻訳

安堂信也・木村光一



La Leçon

illustration: TAKETOMI Kenzi